

# iU 情報経営イノベーション専門職大学 2026年度

## 私費外国人留学生 入学者選抜要項(日本国外)

※2025年6月時点の情報です。



## 目次

|          |                                                       |
|----------|-------------------------------------------------------|
| P3.....  | iU 情報経営イノベーション専門職大学の概要                                |
| P4.....  | ディプロマ・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／アドミッション・ポリシー                   |
| P6.....  | 出願方法／受験の流れ                                            |
| P7.....  | インターネット出願システム                                         |
| P9.....  | 入学検定料／出願上の注意事項／2回目以降の出願                               |
| P10..... | オンライン面接／受験上の注意事項                                      |
| P11..... | 合否発表／補欠者の発表と繰上合格                                      |
| P12..... | 入学手続き／学生納付金                                           |
| P13..... | 学費等の分納／特待生選抜                                          |
| P14..... | 私費外国人留学生 奨学生制度                                        |
| P15..... | 進級時学費減免制度／入学検定料免除制度／学校法人電子学園 日本電子専門学校との併願割制度／親族入学優遇制度 |
| P16..... | 一般選抜                                                  |

## その他・お問い合わせ

|          |                        |
|----------|------------------------|
| P18..... | 過去問題／2025年度 入学試験結果／寄付金 |
| P19..... | 入試に関するお問い合わせ先／アクセスマップ  |

## 個人情報の取扱いについて

出願時に収集した個人情報は、入学者選抜試験、合格発表、入学手続きおよびこれらに付随する業務のために利用します。その際は、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等のないよう、適切な管理を行います。また、上記の業務に関して、一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し契約等により適切な管理を義務付けます。



# iU 情報経営イノベーション専門職大学の概要

## 1.教育理念

変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する

## 2.大学の目的

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、広くイノベーションに関する知識と専門の学術を深く教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させることを目的とする。

## 3.学部・学部の目的

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する。

## 4.学部・学科名称

情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

## 5.修業年限

4年

## 6.募集定員

160名



## ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学では、変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成することを目標に、以下の能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 職業的自立を図る能力         | 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                    | 国際的な視野を持って様々な人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識を身に付けている。                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                    | 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 経営に関する知識・スキル       | 企業経営やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できる。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                    | 市場の情報収集や調査を行い、経営課題やサービス・ビジネス創出の機会を発見できる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                    | 企業の持続性の観点から評価・分析する理論的知識と実践力を身に付けている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 情報通信技術に関する知識・スキル   | 情報科学の基礎理論を理解し、それを情報通信技術の実装に繋げられる基礎的な技能を身に付けている。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                    | 情報通信技術を用いた実社会における諸課題に対する解決法を導出できる。具体的には、以下のいずれかの素養を身に付けている。<br>・情報システムの基本構成を理解し、顧客の要望に基づき、計画的にシステム基盤を整備するための知識・技能を身に付けている。<br>・アプリケーション開発に関する知識・技能を基に、新たな付加価値のある情報通信技術を考案できる。<br>・ネットワーク通信の仕組み、情報セキュリティの全体像を理解し、その知識を情報システムの構築や安全かつ安定したシステム運用に活用できる。<br>・膨大かつ多種多様なデータを収集・分析し、そこに潜む数理的な法則・関係性を洞察する基礎的な能力とデータサイエンスを応用した情報通信技術の知識を身に付けている。 |
| 国際的コミュニケーション能力     | 国際的なビジネスの現場で説明、意見交換・討論、交渉など、必要なコミュニケーションをとることができる。                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                    | 国際的な舞台で他者と協働しながらビジネスを推進する上で必要となる異文化を受容する態度や国際的視野を身に付けている。                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 時代の変化に対応するビジネスの総合力 | 経営と情報通信技術に関する理論的知識と実践的知識を融合し、国際社会や地域社会の産業発展に寄与する革新的なサービス・ビジネスの創出に繋げる創造力を身に付けている。                                                                                                                                                                                                                                                        |

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目から構成される順次性のある体系的な教育課程を編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。学修内容、学修指導の方法、学修成果の評価については以下のとおりとする。

### 1.学修内容

基礎科目・現代社会基礎科目は、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

|               |                                                                                          |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基礎科目・現代社会基礎科目 | 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインや基本的なビジネススキルについて学ぶ。 |
|               | 国際的な視野を持って様々な人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識を身に付けるため、現代社会の諸相や外国語を学ぶ。                          |
|               | 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう数学的な思考法を学ぶ。                                                |

職業専門科目のうち経営科目は、企業の戦略立案と組織管理に関する理論を理解し、その考え方を活かして企業経営の現状を評価・分析した上で、目指すべき姿を実現する能力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

|             |                                                             |
|-------------|-------------------------------------------------------------|
| 職業専門科目・経営科目 | 企業経営やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるよう組織管理について学ぶ。 |
|             | 市場の情報収集や調査を行い、経営課題やサービス・ビジネス創出の機会を発見できるようマーケティングの手法を学ぶ。     |
|             | 企業の持続性の観点から評価・分析する理論的知識と実践力を身に付けるため、企業会計や企業法務を学ぶ。           |



職業専門科目のうち情報通信技術科目は、情報科学の理論を理解し、情報通信技術を活用して実社会における諸課題の解決に取り組むことができる素養を培うために、以下の学修内容で構成する。

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 職業専門科目・<br>情報通信技術科目 | 情報科学の基礎理論を理解し、それを情報通信技術の実装に繋がられる基礎的な技能を修得するため、コンピュータの動作原理やプログラミングを学ぶ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|                     | 情報通信技術を用いた実社会における諸課題に対する解決法を導出できるよう以下の内容を学ぶ。<br>・情報システムの基本構成を理解し、顧客の要望に基づき、計画的にシステム基盤を整備するための知識・技能を身に付けるため、ITインフラストラクチャの設計・構築手法やデータベース技術、クラウド技術などを学ぶ。<br>・アプリケーション開発に関する知識・技能を基に、新たな付加価値のある情報通信技術を考案できるようアプリケーションのデザイン手法、設計・開発手法やそれを実装するための技術を学ぶ。<br>・ネットワーク通信の仕組み、情報セキュリティの全体像を理解し、その知識を情報システムの構築や安全かつ安定したシステム運用に活用できるようネットワーク技術や情報セキュリティリスクの管理手法を学ぶ。<br>・膨大かつ多種多様なデータを収集・分析し、そこに潜む数理的な法則・関係性を洞察する基礎的な能力とデータサイエンスを応用した情報通信技術の知識を身に付け、実社会における課題解決に活用できるようデータ解析の手法や人工知能技術を学ぶ。 |

展開科目・グローバルコミュニケーション科目は、文化的背景の異なる他者と協働するために必要なコミュニケーション能力や国際感覚、国際的な視野を身に付けるため、以下の学修内容で構成する。

|                                   |                                                                                                         |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展開科目・<br>グローバル<br>コミュニケーション<br>科目 | 国際的なビジネスの現場で説明、意見交換・討論、交渉など、必要なコミュニケーションをとることができるよう外国語運用能力の向上を図るとともに、場面に応じた外国語による表現技法を学ぶ。               |
|                                   | 国際的な舞台上で他者と協働しながらビジネスを推進する上で必要となる異文化を受容する態度や国際的視野を身に付けるため、自文化・異文化、国際社会の変遷・動向、国際化社会における様々な業界の特性などについて学ぶ。 |

職業専門科目のうち領域共通科目および総合科目は、経営と情報通信技術に関する理論的知識と実践的知識を融合し、国際社会や地域社会の産業発展に寄与する革新的なサービス・ビジネスの創出に繋げる創造力を獲得するため、以下の学修内容で構成する。

|                            |                                                                                                   |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 職業専門科目・<br>領域共通科目/<br>総合科目 | 実践的なプロジェクト型演習を中心に、経営と情報通信技術に関する知識・技能、国際的な感覚・視野を統合的に活用し、他者と協働しながら新たな経済的・社会的価値を生むサービス・ビジネスの創案に取り組む。 |
|                            | 経営や情報通信技術に関する知識を基に、ビジネスプランを立案し、その実現に向け、他者を説得し資金調達等に繋げる手法を実践的に学ぶ。                                  |
|                            | 企業等における600時間の臨地実務実習を通じて、新たなサービス・ビジネスを創出する上で必要となる計画立案・遂行力、課題発見・分析・解決力等のビジネススキルを実践的に学修する。           |

## 2.学修指導の方法

|     |                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) | 4年間を通じて学生個々の学修成果を定量的・定性的に記録した学修ポートフォリオを作成する。学修ポートフォリオを活用して教員組織と事務組織の連携の下に、学生が学修状況を内省し、明確な目標を持って計画的に学修を進められるよう必要な助言・指導を行う。                  |
| (2) | 授業は原則40名以下で実施する環境を整備し、各授業科目の学修内容・到達目標に応じて講義、演習、実習又はこれらの併用により行う。その際、必要な知識の修得に配慮するとともに、グループ討議やグループワーク、プロジェクト型演習などの授業手法を適切に取り入れ、学生の主体的な学びを促す。 |
| (3) | 学生が教育課程の体系を理解した上で履修する授業科目を選択し、自身の志向に応じて学修を進められるよう履修モデルを活用した履修指導を行う。                                                                        |
| (4) | LMS (Learning Management System)による授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。                                                                              |

## 3.学修成果の評価

|     |                                                                                |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------|
| (1) | シラバスにおいて各授業科目の到達目標と成績評価の方法・評価割合を明示し、それによって適切に学修成果を評価する。また、成績評価は試験又はレポートを中心に行う。 |
| (2) | 各授業科目の成績評価を基に、各学生の成績評価の全体平均を示す総合成績評価GPA (Grade Point Average)を算出し、履修指導等に活用する。  |

# アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

本学の教育理念・目的に共感し、以下の(1)(2)(3)(4)すべての項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

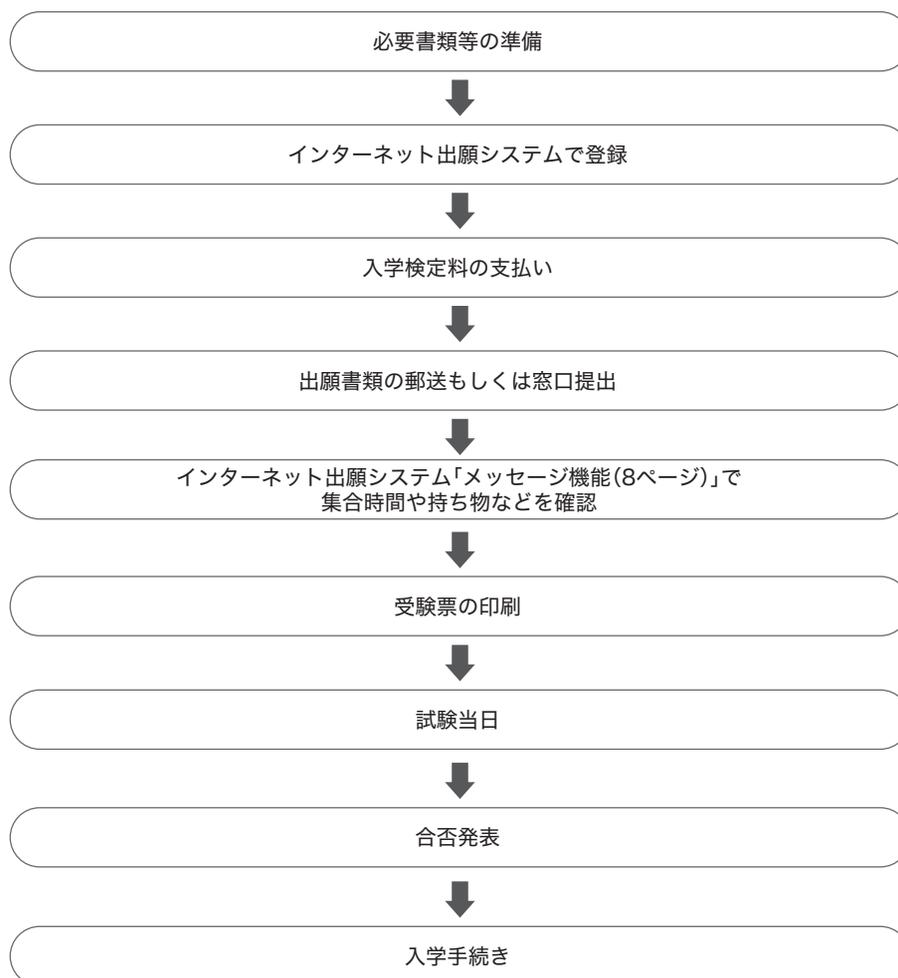
|     |                                                                                                                                                                                                    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) | 高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要な基礎的な能力を身に付けている。 |
| (2) | 社会の様々な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。                                                                                                                                                  |
| (3) | 情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルを基に社会の様々な課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。                                                                                                                          |
| (4) | 学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。                                                                                                                                       |



## 出願方法

インターネット出願システムを利用します。

## 受験の流れ



### 【注意事項】

- ※選抜区分ごとに必要な出願書類が異なります。必ずご確認ください。
- ※インターネット出願システムにアクセスしていただき、画面の内容に沿って必須事項を登録してください。
- ※出願完了後は、登録された内容を変更することはできませんのでご注意ください。
- ※支払い方法をご確認の上、入学検定料を期限内にお支払いください。支払期限が過ぎてしまった方は、出願をし直す必要があります。
- ※選抜区分ごとに「必要な出願書類」をご確認の上、出願締切日までに角型2号封筒に出願郵送用宛名ラベルを貼り、「必要な出願書類」を封入。簡易書留速達郵便で本学入試課宛まで郵送してください(必着)。なお、出願締切日の9:00から17:00までは窓口受付も行っています。
- ※出願の受理は、受験票交付・テーマ発表日です。それより前に出願書類の到着確認を行う場合はお電話ください。
- ※受験票は受験票交付・テーマ発表日の13:00から印刷が可能です。受験者本人が必ずカラー・A4サイズで印刷し、試験当日に持参してください。本学から受験者に受験票は郵送いたしませんのでご注意ください。
- ※試験当日の集合時間や持ち物などの注意事項をインターネット出願システムのメッセージ機能で行います。必ずご確認ください。(メッセージの見方は9ページをご確認ください)
- ※試験前後の連絡はインターネット出願システムおよびメールにてご連絡いたします。必ず本学からのメール(@i-u.ac.jp、@syutsugan.net)を受信できるメールアドレスをご登録ください。



# インターネット出願システム

インターネット出願ページへは下記のURLまたはQRコードよりアクセスしてください。

<https://www.syutsugan.net/i-u/>



## <注意事項>

- ・インターネット出願後の登録内容等の変更はできません。十分確認の上、インターネット出願を行ってください。
- ・試験当日の集合時間や持ち物などの注意事項など、受験票交付時にインターネット出願システム上でお知らせします。事前に、メッセージ機能(8ページ)についてご確認ください。

## ■大学入学希望理由書

インターネット出願時に「課題・質問項目」の欄に「大学入学希望理由書」を入力してください。記入していただく内容は以下の通りです。本学のアドミッション・ポリシーをよく読み、800字以内で具体的に入力してください。

### 『本学を志望した理由と、何を学びたいのか、また、どのような将来像を描いているのか』

※一般選抜については、A日程の特待生選抜志願者のみ入力してください。

## ■写真データ

インターネット出願時に必要な写真データについては、以下内容をご確認の上、「証明写真機」(写真データをダウンロードおよび取得ができるもの)、スマートフォン等のカメラ機能、デジタルカメラ等で写真撮影してください。

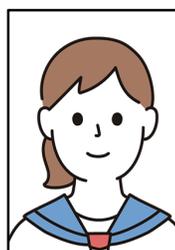
### <写真データの概要>

- ・出願前3カ月以内に撮影されたもの
- ・カラー写真(モノクロは不可)
- ・ファイル形式「.jpg」「.jpeg」
- ・画像容量は1MB以下のもの

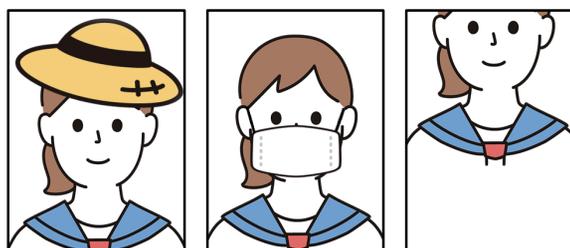
### <写真データの注意事項>

- ・上半身のみが写っていること
- ・無背景なこと(白・薄い青・グレーなど)
- ・顔の位置が偏っていないこと
- ・顔がはっきりと鮮明に写っていること
- ・画像を加工していないこと
- ・帽子をかぶっていないこと
- ・顔が正面を向いていること
- ・影がないこと
- ・マスクをつけていないこと

### 【適切な写真例】



### 【不適切な写真例】



■メッセージ機能

入試当日のお知らせ・注意事項や入学手続きに関する連絡は、インターネット出願システム メッセージ機能から行います。

パソコン・スマートフォン共通

<手順①>  
インターネット出願システムにアクセスし、  
【マイページ】を選択。



パソコンの場合

<手順②>  
「お知らせ」ボタンをクリックすると、  
メッセージが開きます。



スマートフォンの場合

<手順②>  
マイページに入ると、右上のメニューボタンをタップ。

<手順③>  
表示された画面中央にある「お知らせ」ボタンをタップすると、メッセージが開きます。



## 入学検定料

初回出願 30,000円 年度内2回目以降の出願 各10,000円

※入学検定料支払い時に事務手数料(受験者負担)が発生します。一度納入された入学検定料については、いかなる場合でも返還できません。  
※一部の方は、「入学検定料免除制度」の対象となります。詳しくは15ページをご参照ください。

## 出願上の注意事項

### ■出願書類

- ・選抜区分ごとに必要な出願書類が異なります。必ずご確認ください。
- ・提出後の出願書類は、一部書類を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
- ・各選抜区分における出願書類の提出期限は期限内必着です。  
期限日までに書類を郵送または提出いただけない場合、当該試験を受験することができませんので十分ご注意ください。
- ・出願書類に不備がある場合は出願を受理することができません。十分確認の上、出願期間内に提出してください。
- ・出願書類に虚偽や事実と異なる記載内容があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ・出願の受理は、受験票交付・テーマ発表日です。それより前に出願書類の到着確認を行う場合はメールでご連絡ください。

### ■入学検定料

- ・納入後の入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。
- ・入学検定料納付時に事務手数料(受験者自己負担)がかかります。
- ・支払い方法をご確認の上、入学検定料を期限内にお支払いください。支払期限が過ぎってしまった方は再度出願登録を行ってください。

### ■その他

- ・障がい等があり、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、必ず本学入試課へご連絡ください。

## 2回目以降の出願

- ・年度内2回目以降の出願の場合、入学検定料は各10,000円です。  
その際、インターネット出願システムで、出願する試験名の後ろに、「2回目以降」と書かれているものを選択してください。
- ・2回目以降出願する場合でも、新たに調査書等の提出が必要です。



## オンライン面接

### ■使用システム

- ・無料で利用できるオンライン会議システム「Zoom」を使用します。

### ■使用機器

- ・使用機材はカメラ・マイク・スピーカー機能付きのパソコンを推奨します。スマートフォンやタブレットでも受験することは可能ですが、できる限りパソコンを使用してください。
- ・試験官からの指示や質問を確実に聞くため、音声のやり取りにはイヤホンの使用を推奨します。マイク付きのものが理想ですが、音声のやり取りができれば、通常のイヤホンでも構いません。
- ・安定したインターネットの通信環境を確保してください。仮にスマートフォンのテザリングなどを使用する場合、使用できるデータ使用料の残量にご注意ください。低速通信モードでは受験に差し障る可能性があります。

### ■受験場所・受験環境

- ・試験時は使用する部屋に受験者本人のみがいる状況とし、第三者は絶対に立ち入らないようにしてください。
- ・現在通学している学校側の許可を得た上で、学校の教室から受験することも可能です。学校から受験される場合は、受験する教室などの部屋には受験者本人のみがいる状況とし、チャイムやその他の雑音が入らないようにしてください。
- ・屋外やインターネットカフェなどでの受験は不可とします。

## 受験上の注意事項

### ■事前確認事項

- ・試験当日の集合時間等については受験票交付時にインターネット出願システム上でお知らせしますので必ずご確認ください。
- ・試験場への交通手段、所要時間等を事前に確認してください。

### ■試験当日の注意事項

- ・試験当日、試験室または控室において受験にあたっての注意事項等の説明が行われます。指定された時間までに必ず試験室または控室に入室し着席してください。
- ・試験時間に遅刻した場合、試験開始時刻より20分まで入室を認めます。それ以降の遅刻者の入室はできません。
- ・試験場に時計はありません。各自でご用意ください。
- ・スマートフォン、携帯電話、スマートウォッチ等の通信機器は試験室内での使用は禁止です。試験室に入る前にアラーム等の設定を解除し、電源を切って鞆などに入れてください。試験を待っている間も使用できません。

### ■試験時間中の注意事項

- ・試験室では、すべて監督者の指示に従ってください。従わない場合には退室させることがあります。
- ・試験途中の退室は認めません。

### ■不正行為

- ・カンニングや、使用を禁止されている機器の操作、また他の受験者の受験を妨げるような行為など、不正行為が確認された場合は、それ以降の受験はできません。また既に受験した科目の試験も無効となります。度を過ぎた悪質な行為については、警察に通報するなどの処置を取ります。

### ■その他 注意事項

- ・受験者以外は試験場に入ることができません。



## ■持参品

## ①受験票

- ・受験票を忘れた場合は、受付で再発行を受けてください。
- ・受験票は必ず携帯し、筆記の試験受験中は常に机上通路側に置いてください。
- ・受験票は、合格確認の際に必要なため、必ず持ち帰り、大切に保管してください。

## ②筆記用具

- ・受験者は、黒鉛筆・消しゴムを持参してください。

## ③時計

- ・スマートフォン、携帯電話、スマートウォッチ等は時計として使用することはできません。
- ・計算機能、辞書機能を有する時計、腕時計型端末等の使用も認めません。

## ④昼食

- ・選抜区分や受験者数によっては昼食が必要になる場合があります。
- その際には受験票交付時にインターネット出願システムのメッセージ機能を通じてお知らせします。

## 合格発表

## 1.郵便での通知

- ・合格者には、合格通知書と入学手続関係書類を合格発表日に郵便で発送します。
- そのため郵便事情等により、到着が発表日の翌日以降になる場合があります。

## 2.インターネット出願システムでの合格照会

- ・合格発表日の午前中にインターネット出願システム上で合格確認が可能です。
- インターネット出願時に使用した「メールアドレス」と「パスワード」は忘れずに保管しておいてください。

## 補欠者の発表と繰上合格

- ・補欠者には補欠通知書を合格発表日に郵便で発送します。
- ・正規合格者の入学手続状況により、「繰上合格」を発表することがあります。
- ・繰上合格が認められた方には、インターネット出願時に登録された連絡先へ順次電話連絡します。
- ・インターネット出願時に登録する連絡先は、確実に連絡のとれる電話番号を入力してください。
- ・補欠および繰上合格に関する電話等による問い合わせには一切応じられません。



## 入学手続き

### ■入学手続き

- ・入学手続最終締切日までに入学手続時納付金を納入し、入学手続関係書類を本学に提出することで完了します。合格通知書に同封する「入学までのご案内」に従って手続きしてください。
- ・入学手続締切日は選抜区分によって異なりますのでご注意ください。

### ■入学辞退(専願を除く)

- ・入学手続(入学手続き最終締切日まで)を完了した方が、入学を辞退する場合は、下記連絡先までメールにて連絡した上で、本学所定の「入学辞退届」を取り寄せてください。
- ・「入学辞退届」を下記期日までに提出した方に限り、入学検定料および入学金を除くすべての納付金を返還いたします。なお、下記期日を過ぎて入学辞退の申し出があった場合、納付金は返還いたしません。

#### 入学辞退届 提出締切日時

- ・本学窓口へ持参する場合・・・ 2026年3月31日(火)9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日は休業につき受付できません)
- ・郵送する場合・・・ 2026年3月31日(火)17:00必着

#### 入学辞退に係るお問い合わせ、ご連絡、書類提出先

iU 情報経営イノベーション専門職大学  
入試課  
〒131-0044 東京都墨田区文花1-18-13  
TEL 03-5655-1555  
MAIL admission@i-u.ac.jp

## 学生納付金

### 1. 入学金・授業料・施設維持費

| 時期    | 入学金      | 授業料(実習費含む) | 施設維持費    | 合計         |
|-------|----------|------------|----------|------------|
| 入学手続時 | 200,000円 | 1,080,000円 | 320,000円 | 1,600,000円 |

※入学時に本学の指定するパソコンもしくは同等の機能を有するパソコンが全員必携となります。パソコンの機能および購入方法等については合格者に送付する入学手続き案内にてお知らせいたします。

### 2. その他納付金

| 時期    | 保険料(4年間) | 学友会費(入会費) | 学友会費(年間費) | 合計      |
|-------|----------|-----------|-----------|---------|
| 入学手続時 | 4,660円   | 20,000円   | 5,000円    | 29,660円 |
| 2年次以降 | —        | —         | 5,000円    | 5,000円  |

※入学金を除き、授業料(実習費含む)、施設維持費は2年次以降も毎年必要です。

※授業料は年額一括納入していただくことが前提ですが、分納することも可能です。

※上記の他に、ソフトウェア、教科書、教材費等が別途かかります。

※保険料については、変更になる場合があります。

※1次手続と最終手続の2回に分けて入学手続を行う選抜区分については、1次手続で入学金を納入し、最終手続でその他の学生納付金を納入が可能です。(1次手続きで全納も可能です)



# 学費等の分納

本学では、留学生に対して学費等の分納を認めています。  
分納を希望する場合は、必ず入学選考終了後(合格後)、教務・管理部(03-5665-1554)にご連絡ください。

## ■納付計画

|     |         |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |           |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
| 1年次 | 手続金     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 1年次合計     |
|     | 859,660 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 1,629,660 |
| 2年次 | 3月      | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 2年次合計     |
|     | 635,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 1,405,000 |
| 3年次 | 3月      | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3年次合計     |
|     | 635,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 1,405,000 |
| 4年次 | 3月      | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 4年次合計     |
|     | 705,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | 70,000 | -      | 1,405,000 |

分納を利用して期の途中で退学する場合は、当該期分の学費の残金をただちに全額納入しなければなりません。  
分納の期日を超えて納付されない時、学則第49条第1項に基づき除籍となります。

※当該期分の学費は「入学金手続き時納入金」「授業料前期」「授業料後期」「施設維持費」を指します。  
※手続金(3月)には、当該期分の学費の他、「その他(保険料、学友会費)」を含みます。  
※分納=月謝ではありませんのでご注意ください。

# 特待生選抜

以下選抜区分では志願者のうち希望者には特待生選抜を実施します。なお、特待生選抜は入学者選抜初回受験時のみ受験可能です。

## 1. 特待生選抜

### ■年間減免額・対象選抜区分

| 種別     | 年間免除額              | 採用人数  | 選抜方法 | 対象選抜区分(A日程)    |
|--------|--------------------|-------|------|----------------|
| A特待生   | 1,000,000円         | 20名程度 | 面接   | ・私費外国人留学生 一般選抜 |
| B特待生   | 500,000円           |       |      |                |
| C特待生   | 200,000円           |       |      |                |
| 学生寮特待生 | 寮の費用<br>180,000円以上 | 若干名   |      |                |

※入学手続きの際、初年度納入金から適用となります。(A特待生、B特待生、C特待生のみ)  
※学生寮特待生(寮の金額)の年間減免額は、寮・お部屋によって金額は異なります。

### ■納付金

|        | 種別   | 入学金      | 授業料(実習費含む) | 施設維持費    | 合計         |
|--------|------|----------|------------|----------|------------|
| 入学手続き時 | A特待生 | 200,000円 | 80,000円    | 320,000円 | 600,000円   |
|        | B特待生 | 200,000円 | 580,000円   | 320,000円 | 1,100,000円 |
|        | C特待生 | 200,000円 | 880,000円   | 320,000円 | 1,400,000円 |

※入学後、毎年審査があります。

## 2. 申請方法

インターネット出願時に「特待生選抜を希望する」にチェックを入れてください。

## 3. 選考方法

入学試験時に面接を実施します。



# 私費外国人留学生 奨学生制度

学業および課外活動に積極的であり、かつ、本学に入学期後も他の学生の模範となる私費外国人留学生に対し、4年間の奨学金を給付します。入学後、各学期末に奨学金給付継続可否の審査を行います。

## 1.応募資格

なし

## 2.申請方法

インターネット出願時に「奨学生制度(奨学生選抜)を希望する」にチェックを入れてください。

## 3.採用人数

最大6名

## 4.奨学金額

2,000,000円 ※4年間総額

| 1年次      |          | 2年次      |          | 3年次      |          | 4年次      |          | 4年間<br>総額  |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| 前期       | 後期       | 前期       | 後期       | 前期       | 後期       | 前期       | 後期       |            |
| 400,000円 | 400,000円 | 200,000円 | 200,000円 | 200,000円 | 200,000円 | 200,000円 | 200,000円 | 2,000,000円 |

※入学手続き時の初年度納入金は、1年次前期400,000円を差し引いた金額となります。

※1年次後期以降は給付となります。

※詳しくは、合格者に通知します。

## ■納付金

|        | 入学金      | 授業料(実習費含む) | 施設維持費    | 合計         |
|--------|----------|------------|----------|------------|
| 入学手続き時 | 200,000円 | 680,000円   | 320,000円 | 1,200,000円 |

## 5.出願期間/試験日

|     | 出願期間(期限内必着)     | 試験日      |
|-----|-----------------|----------|
| A日程 | 9/1(月)~10/9(木)  | 10/19(日) |
| B日程 | 11/1(土)~12/4(木) | 12/14(日) |

## 6.選考方法

入学試験時に面接を実施します。

## 7.注意事項

本奨学生制度は、原則返還の必要はありませんが、以下に該当すると認められた場合は、給付された金額の全部または一部を返還しなければなりません。奨学生制度への出願は、以下の内容に同意していることを前提とします。

- (1) 提出した書類の内容に虚偽があったとき
- (2) 退学、もしくは除籍されたとき
- (3) 疾病などのために学業継続の見込みがないとき
- (4) その他本奨学生として適切でないと認められたとき

奨学生制度は特待生選抜を併願できません。特待生選抜受験者は、それ以降の日程で奨学生選抜を受験することはできません。



## 進級時学費減免制度

本学に入学後、進級時に前年次(4月～3月の1年間)の出席率が90%を超える方に、進級年次前期の学費から100,000円を減免する制度です。

### ■減免額例

1年次→2年次 …… 100,000円

2年次→3年次 …… 100,000円

3年次→4年次 …… 100,000円

---

計最大3回 …… 300,000円

※退学もしくは除籍された場合は、減免額を返還しなければなりません。

※休学した場合、以後の資格を失います。ただし、兵役など本人の責によらない休学の場合は、復学後再度適用となります。

※詳細はお問い合わせください。

## 入学検定料免除制度

出願前に「オープンキャンパス」、「留学生対象オープンキャンパス」、「韓国独自説明会」に参加し、2025年11月6日(木)までに申し込んだ場合、出願時にかかる入学検定料(30,000円)を免除します。

該当イベントに参加した方にお渡しをする「入学検定料免除証明書」を、出願書類と合わせてご提出ください。

※出願後の申請は受け付けておりません。

## 学校法人電子学園 日本電子専門学校との併願割制度

専願を除く各選抜区分において、iU 情報経営イノベーション専門職大学と同学校法人である日本電子専門学校との併願を申請し、最終的に、日本電子専門学校へ入学をされる場合には、本学へ納入いただいた入学金200,000円をそのまま日本電子専門学校への入学金200,000円として適用いたします。

なお、併願割制度をご希望の方は出願時に『日本電子専門学校併願申請書(本学所定様式)』の提出が必要です。

※出願後の申請は受け付けておりません。

※「親族入学優遇制度」との併用はできません。

## 親族入学優遇制度

入学希望者の2親等までが学校法人電子学園の在学学生・卒業生である場合、学生納付金より200,000円、親族同士で同年入学する場合はそれぞれ100,000円を減免する制度です。

1親等：父母、子

2親等：兄弟姉妹、祖父母、孫、配偶者

なお、親族入学優遇制度をご希望の方は出願時に『親族入学優遇制度申請書(本学所定様式)』の提出が必要です。

※出願後の申請は受け付けておりません。

※「学校法人電子学園日本電子専門学校との併願割制度」との併用はできません。



## 私費外国人留学生 一般選抜

併願

## 1. 募集人員 30名(他の私費外国人留学生選抜と合計)

## 2. 出願期間・試験日・合格発表日

| 日程  | 出願期間<br>(期限内必着) | 受験票<br>交付 | 試験日      | 合格発表日             | 入学手続<br>1次締切日 | 入学手続<br>最終締切日 | 試験会場                 |
|-----|-----------------|-----------|----------|-------------------|---------------|---------------|----------------------|
| A日程 | 9/1(月)~10/9(木)  | 10/10(金)  | 10/19(日) | 11/1(土)           | 11/17(月)      | 11/28(金)      | 韓国(ソウル)<br>台湾        |
| B日程 | 11/1(土)~12/4(木) | 12/5(金)   | 12/14(日) | 12/15(月)<br>11:00 | —             | 12/25(木)      | 中国(北京・上海)<br>※いずれか選択 |

※A日程志願者のうち希望者には特待生選抜を実施します。詳細は13ページをご覧ください。

※志願者のうち希望者には奨学生選抜を実施します。詳細は14ページをご覧ください。

※試験当日の集合時間などについては、受験票交付時にインターネット出願システムのメッセージ機能を通じてお知らせします。

## 3. 試験科目

小論文(60分・800字以内)、面接・口頭試問

## 4. 選抜方法

以下を総合して合否判定します。

- (1) 小論文、面接・口頭試問
- (2) 出願書類

## 5. 入学検定料 30,000円

## 6. 出願資格

次の(1)～(4)のすべてに該当する外国籍の者

(1) 下記の①～④のいずれかに該当していること

① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または2026年3月31日までに修了見込みの者およびこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup>: 12年の課程のうち日本の教育制度に基づく学校での在学期間が含まれる場合、8年以上を外国の学校において修了した者

② 国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国のアビトゥア資格、フランス共和国のバカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格、インターナショナルAレベル、ヨーロッパアン・バカロレア資格を有する者

③ 国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)の認定を受けた外国にある教育施設の12年の課程を修了した者

④ 本学の個別入学資格審査<sup>\*2</sup>による認定を受け、2026年3月31日までに18歳に達する者

<sup>\*2</sup>の詳細は本学までお問い合わせください。

(2) 下記の①～③のいずれかに該当していること

① 公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する、日本語能力試験(JLPT)の「N2」以上の認定を受けた者

② 独立行政法人日本学生支援機構主催「日本留学試験(EJU)」の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が200点以上を習得した者

③ 公益財団法人日本漢字能力検定協会が認定する「BJTビジネス日本語能力JLRT聴読解テスト(筆記テスト)」のスコアが400点以上の者

(3) 「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者

(4) 本学在学中に、学費及び生活費を支弁できる者



7.出願書類

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |           |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 入学志願票                                      | インターネット出願時に「入試情報」および「個人情報」等を入力することで、入学志願票の提出とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | インターネット出願 |
| 大学入学希望理由書                                  | インターネット出願時に「課題・質問項目」の欄に「大学入学希望理由書」を入力してください。(7ページ参照)                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | インターネット出願 |
| 私費外国人留学生<br>身元保証人等調査票(日本国外)                | 本学ホームページから「私費外国人留学生 身元保証人等調査票(日本国外)」をダウンロードの上、印刷し、志願者本人が必要事項を記入し、提出してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 郵送        |
| 母国の最終出身学校(高等学校、大学、専修学校)の卒業証明書または卒業見込証明書の原本 | ・日本語以外の言語で書かれている場合には、大使館等の公的機関や翻訳機関等または在籍している学校が翻訳した翻訳証明付(学校印等)の日本語訳を必ず添付してください。なお、卒業証明書等の原本が提出できない場合には、必ず原本と相違がないことを証明した学校印等のあるコピーもつけてください。<br>・大学や専修学校を卒業された方は、高等学校および大学または専修学校の証明書(原本)を提出してください。                                                                                                                                                                | 郵送        |
| 母国の最終出身学校(高等学校、大学、専修学校)の成績証明書の原本           | ・卒業証明書等と同じ学校の成績証明書の原本を提出してください。<br>・日本語および英語以外の言語で書かれている場合には、大使館等の公的機関や翻訳機関等または在籍している学校が翻訳した翻訳証明付(学校印等)の日本語訳を必ず添付してください。なお、成績証明書の原本が提出できない場合には、必ず原本と相違がないことを証明した学校印等のあるコピーもつけてください。<br>・大学や専修学校を卒業された方は、高等学校および大学または専修学校の証明書(原本)を提出してください。                                                                                                                         | 郵送        |
| 日本語能力証明書(原本)                               | ・日本語能力試験(JLPT) N2以上の日本語能力認定書 <sup>*1</sup> または認定結果および成績に関する証明書(原本)<br>・日本留学試験(EJU) 日本語科目の合計が200点以上の成績確認書 <sup>*1</sup> 、<br>・公益財団法人日本漢字能力検定協会が認定するBJTビジネス日本語能力テストのスコアが400点以上の成績証明書 <sup>*1</sup><br>※証明書を提出できない方は、*1の原本と一緒にコピーを提出してください。<br>*1の原本は試験当日にお返しします。<br>※出願締切日時点で有効期限内であること                                                                              | 郵送        |
| 健康診断書                                      | 本学ホームページから「健康診断書(本学所定様式)」をダウンロードの上、印刷し、日本語または英語で書かれた医師のサイン・印鑑のあるものを提出してください。なお、診断年月日は出願前3ヶ月以内のものを有効とします。                                                                                                                                                                                                                                                           | 郵送        |
| 滞在外費支弁に関する質問書                              | 本学ホームページから「2026年度入学者選抜 経費支弁書(日本国外)(本学所定様式)」をダウンロードの上、印刷し、志願者本人が必要事項を記入し、提出してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 郵送        |
| その他必要に応じて本学が指定する書類                         | ○志願者自らが経費を支弁する場合<br>・申請人名義の預金証明書(日本語訳も添付のこと)<br>・給付金額及び給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書<br>※該当者のみ<br>○志願者の親族等からの送金による場合<br>・直近1年間の送金者名義の預金残高証明書及び預金証明書の写し(日本語訳も添付のこと)<br>・直近1年間の送金者の在職証明書(日本語訳も添付のこと)<br>・申請人との関係を証明する文書(公証書(住民票もしくは戸籍謄本)(日本語訳も添付のこと))<br>・預金能力を裏付ける資料(経費支弁者の給与明細・納税証明書など(日本語訳も添付のこと))<br>・給付金額及び給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書<br>※該当者のみ<br>※上記以外の書類の提出を求める場合があります。 | 郵送        |
| パスポートのコピー                                  | ※顔写真ページ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 郵送        |
| 入学検定料免除証明書<br>※希望する方のみ                     | 入学検定料免除証明書は、オープンキャンパス等の該当イベントに参加した方のみ配布します。出願時に他の出願書類とともに提出してください。出願後の提出は受け付けておりません。                                                                                                                                                                                                                                                                               | 郵送        |
| 出願書類確認リスト                                  | ※インターネット出願時に「出願書類確認リスト(本学所定様式)」をダウンロードの上、印刷し、チェック欄に☑してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 郵送        |

※提出された出願書類は一部を除き返還いたしません。



## 過去問題

2025年度の入学試験問題を本学ホームページに掲載しますのでご参考にしてください。(2025年7月中旬予定)

## 2025年度 入学試験結果

| 試験区分            |                 |    | 募集人員              | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 倍率  |
|-----------------|-----------------|----|-------------------|-----|-----|-----|-----|
| 学校推薦型選抜         | 公募制推薦(A・B日程)    | 併願 | 40名 <sup>*1</sup> | 3   | 3   | 3   | 1.0 |
| 総合型選抜           | グループワーク型(A日程)   | 併願 | 60名               | 6   | 6   | 6   | 1.0 |
|                 | プレゼン型(A～I日程)    |    |                   | 17  | 16  | 14  | 1.1 |
|                 | 小論文型(A～I日程)     |    |                   | 7   | 7   | 5   | 1.4 |
|                 | 面接型(A～I日程)      |    |                   | 81  | 80  | 77  | 1.0 |
| 一般選抜A～C日程       |                 | 併願 | 30名               | 36  | 30  | 29  | 1.0 |
| 特別選抜(社会人) A・B日程 |                 |    | 若干名               | 0   | 0   | 0   | -   |
| 特別選抜(帰国生) A・B日程 |                 |    | 若干名               | 0   | 0   | 0   | -   |
| 留学生             | 指定校推薦型選抜(A～C日程) | 専願 | 30名               | 9   | 9   | 8   | 1.1 |
|                 | 学校推薦型選抜         | 専願 |                   | 0   | 0   | 0   | -   |
|                 | 一般選抜(A～E日程)     | 併願 |                   | 30  | 28  | 24  | 1.2 |

\*1 指定校推薦とあわせた募集人員。指定校推薦の結果を除く。

## 寄付金

教育環境の整備・充実を目的として、ご父母・保証人の皆様に任意のご寄付をお願いする予定です。詳細につきましては、入学手続き終了後にご案内申し上げます。



# 入試に関するお問い合わせ先／アクセスマップ

## 墨田キャンパス

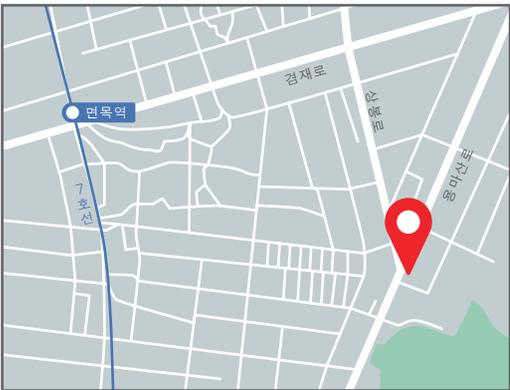


〒131-0044 東京都墨田区文花1-18-13  
 iU 情報経営イノベーション専門職大学 入試課  
 TEL 03-5655-1555  
 Mail admission@i-u.ac.jp  
 URL https://www.i-u.ac.jp/

受付時間 平日9:00～17:00  
 (土曜、日曜、祝日は休業につき受付できません)

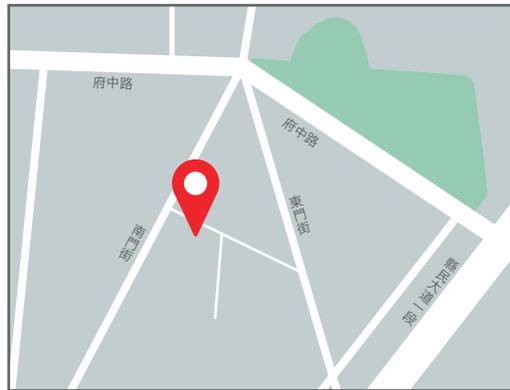
【東武亀戸線】 小村井駅 徒歩約6分  
 【東京メトロ半蔵門線・都営浅草線・京成押上線・東武スカイツリーライン】 押上駅 徒歩約15分  
 【東武スカイツリーライン・東武亀戸線】 曳舟駅 徒歩約14分  
 【京成押上線】 京成曳舟駅 徒歩約13分  
 ※本学までの交通手段や所要時間は事前に確認しておいてください。

## 韓国事務所



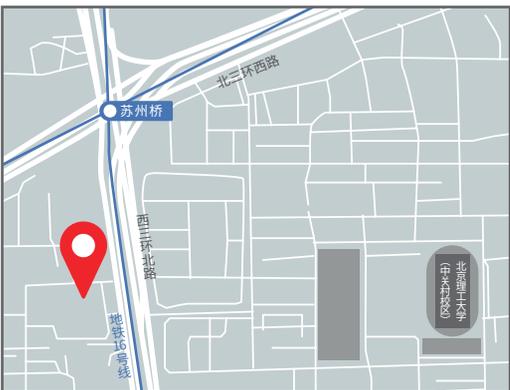
SEOUL市中浪區龍馬山路384, A棟 101, 102号  
 TEL : 070-7760-1088  
 E-mail : ndsndskorea@naver.com

## 台湾事務所



新北市板橋區南門街35號3樓  
 TEL : 02-8968-2239  
 E-mail : info.ntf@msa.hinet.net

## 中国事務所(北京)



北京市海淀区西三环北路3号  
 電話: +86-1088818832  
 メール: yaoyujie@xf-world.org  
 地図: https://tinyurl.com/2b8gz25m

## 中国事務所(上海)



上海市楊浦區政熙路2号(国权路地铁站4号口步行430米)  
 電話: +86-13681831018  
 メール: shujun@xf-world.org  
 地図: https://tinyurl.com/22ncgk33





**iU 情報経営イノベーション専門職大学**

東京都墨田区文花1-18-13  
03-5655-1555 (代表・入試課)

